

特別支援教育便り

## ほほ笑み便り

NO. 5

令和2年2月18日  
杉並区立八成小学校

## はちなり教室の実践紹介（2）

在籍学級で学習・生活する力を育み、学校生活をより楽しく充実したものにできるようサポートする場が「はちなり教室」です。そのためにはちなり教室では、小グループ学習と個別学習、2種類の方法から子供たち一人一人に応じた指導を行っています。さらに、小グループ学習は、教員が活動内容を決める「みんなの時間」（No.4 で紹介）と子供たちが話し合って活動内容を決める「フレンドリータイム」の2つの活動を行っています。今回は、小グループ学習から「フレンドリータイム」の実践を紹介します。

## ◎「フレンドリータイム」子供たちが話し合いで活動内容を決めることのメリット◎

- ・自分たちの活動だから主体的（みんな真剣です！）に話し合いに参加できる。
- ・自分たちで決めたことだから、活動自体も主体的に取り組める。
- ・見通しをもち、計画を立て、時間を意識して活動する、という練習ができる。
- ・「意見を言う」「意見を聞く」「譲る」「主張する」といった日常で生かせるコミュニケーションが実践的に学べる。



「譲るのが苦手」「意見を言うのが苦手」など、話し合い活動での苦手は一人一人違います。ただ、「譲るのが苦手」というのは裏を返せば「意思が強い」「自己主張ができる」ということです。「苦手」を克服するためのフレンドリータイムではなく、子供たち一人一人が自分の個性を理解し、生かしていくための時間にしたいと思って活動しています。

## ◎「フレンドリータイム」どんなことをやっているの？◎

粘土やドッチボール、絵回しなど様々な活動がありますが、子供たちに人気なのがボードゲーム・カードゲームです。



「えっ！？ゲームで学習??」と思われる方も多いかもしれませんが、ゲームから学べることはとても多くあります。ゲームにも「対戦型」と「協力型」の2種類があり、それぞれのよさがあります。裏面では、「対戦型」と「協力型」のゲーム内容とそこでのねらいをご紹介します。

## ○「フレンドリータイム」対戦型ゲーム○

対戦型ゲームとは、いわゆる UNO や人生ゲームといった勝ち負け、順位のはっきりしたゲームです。対戦型ゲームでは、「勝った時、負けた時の気持ちの受け止め、表し方を学ぶこと」「ルールを守ること、ルールを守るよさを知ること」「自分で考え判断する力を高めること」などをねらいとして活動しています。

はちなり教室では、活動前に一人一人がめあてを決めますが、「勝っても負けても楽しむために、ルールや順番を守って活動する。」「負けた時に気持ちを切り替える。」といっためあてをもつ子も多いです。そのようにめあてを意識して活動することで、学びも深くなると日々感じます。



「勝ったらうれしい。」「負けたらくやしい。」というのは当たり前の感情です。その当たり前のことをどう受け止め、どう表していくのか、これはルールや定型文で決められるものではありません。「負けるかもしれない。」と見通しをもちながら活動したり、「くやしいね。」「悲しいね。」と言語化したり、「勝つこともあれば負けることもある。」と理論的に納得したり、気持ちを表す前に一呼吸置いて周りの子の表情を見たり。実践の中で、子供たち一人一人が自分に合った方法を見付け、普段の生活の中でも生かせるようになることを願っています。

## ○「フレンドリータイム」協力型ゲーム○

協力型ゲームとは、全員で協力してクリアをめざすゲームです。たとえば、「しちならべ」。対戦型だと「カードが出せなくなった人が負け。」というルールですが、「手札を口頭で伝え合い、全員がカードを出し切れることを目指す。」というルールにして協力型にアレンジすることができます。最近では、協力型のボードゲームやカードゲームもたくさん出ています。

勝ち負けでいうならば、「ゲームのシステム VS 参加者全員」という構図なので、勝ち負けの嬉しさも悔しさも共有できるところがポイントです。また、対戦型と違って「協力」しなければゲームクリアができないので、活動中は意思疎通のやり取りが不可欠です。その中で、意見の不一致があったり、うまく伝え合えない葛藤があったりするかもしれません。逆に友達のアイデアに助けられたり、自分の判断が感謝されたりすることもあるでしょう。それも、対戦型ゲームとはまた違った良さです。



協力型ゲームをすると、「ここは僕が出せるよ!」「ごめん、こうするしかないや。」「ドンマイ!しょうがない。」「あきらめないで、なんとかなるかも!」「ありがとう。」など自然と良い言葉かけが出ることが多くなります。

みんなでクリアできた時の一体感も嬉しいものです。

特別支援に関するご質問がございましたら、以下までご連絡ください  
(連絡先)

特別支援教育コーディネーター 6-1 担任 池田 03-3399-3138 (学校代表)

特別支援教育コーディネーター はちなり教室担当 杉村 03-3399-3181 (はちなり教室直通)

